



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ノザワ

コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4112

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,234	7.5	370	91.6	401	192.6	234	—
24年3月期第2四半期	7,657	9.8	193	—	137	—	15	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 92百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.03	—
24年3月期第2四半期	0.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	22,755	9,022	37.6	366.43
24年3月期	21,314	8,976	39.8	363.76

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,551百万円 24年3月期 8,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	3.9	860	44.5	850	55.5	400	90.1	17.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	24,150,000 株	24年3月期	24,150,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	813,785 株	24年3月期	812,309 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	23,336,966 株	24年3月期2Q	23,338,403 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などにより、緩やかに持ち直しているものの、長期化する円高の影響、債務危機による欧州経済の減速に加え、中国及び新興国経済の減速懸念があるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。建築材料業界におきましても、設備投資及び住宅着工戸数に回復の兆しが見られたものの、企業間競争の激化に伴い、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、従来の環境型商品を更に進化させ、顧客が求める環境負荷低減のニーズに応えるべく新たな商品群を開発、発売致しました。壁面緑化システム「アスロックグリーンウォール ビルトインタイプ」（2011年度グッドデザイン賞受賞）は1号物件の施工が完了。高い評価を頂き、正式販売を開始するとともに、顧客要望が高かった横張り仕様も併せて発売致しました。また、壁面緑化システムの第3弾として、意匠に対する顧客ニーズに基づき、重量感のある土系タイルと緑化のコントラストが鮮やかな「アスロックグリーンウォール タイルタイプ」を開発、発売致しております。また、太陽電池一体型外壁システム「アスロックソーラーウォール」（特許出願済）については、発電量を大幅にアップした「アスロックソーラーウォール Power FLEX」を開発、販売を開始。当社従来品と比較して単位発電量当たりのイニシャルコストが約50%と大幅なコストダウンを実現致しました。日射を反射する高機能なリブを持つ「レフスカイ」、赤外線反射率の優れた遮熱機能塗装仕上げの「カラリードクール」を含め、環境対応商品の拡充を図っております。さらに、高層建築向けに開発した「アルカス」は高い評価を頂き、新たな市場の開拓へと繋げております。また、賃貸住宅等に採用されている、床衝撃音遮断性能に優れた「住宅用高遮音床材」の販売数量は、前年同期比22.4%増加致しました。

マインケミカル事業につきましては、ミネラル肥料「マインマグシリーズ」において、施肥効果として、収量の増加及び食味値の向上等の評価を頂き、採用が増加致しました。作物別では、特に米・茶・麦・野菜への採用が増加致しております。また、有機栽培向けの需要も増加したことにより、総出荷量427t（前年同期比2倍強）と、販売開始以来着実に出荷量を伸ばしております。

海外事業につきましては、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」の生産工場において、一般建築向けの押出成形セメント板「アスロック」と、戸建住宅向けの押出成形セメント板「住宅用軽量外壁材」の製造、供給を開始致しました。「野澤貿易(上海)有限公司」では、首都「北京」に新たな販売拠点を設け、商談量の増加に努めております。

生産部門では、柔軟な運転体制のもと、設備保全システムを運用し、安定生産に努め、受注数量増に対応致しました。尚、関西地区では節電要請への対応も併せて実施致しました。

管理部門では、IT活用により関係会社を含めた業務システム構築等を実施し、トータルコスト削減、業務効率アップに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は82億34百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。品種別の売上高については、押出成形セメント製品関連では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は49億48百万円（前年同期比7.0%増加）、住宅用軽量外壁材は8億93百万円（前年同期比0.9%増加）となり、押出成形セメント製品関連合計では58億42百万円（前年同期比6.0%増加）に、スレート関連は5億46百万円（前年同期比3.0%増加）となりましたが、耐火被覆等は5億32百万円（前年同期比10.1%減少）となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上や製造原価低減、販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、営業利益は3億70百万円（前年同期比91.6%増加）、経常利益は4億1百万円（前年同期比192.6%増加）となり、四半期純利益は2億34百万円（前年同期は15百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が4億49百万円増加、受取手形及び売掛金が8億17百万円増加したこと等により85億87百万円（前連結会計年度末と比較して14億19百万円増加）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が2億4百万円減少したものの、有形固定資産が在外子会社の設備投資等により1億65百万円増加したこと等から、141億68百万円（前連結会計年度末と比較して21百万円増加）となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ14億41百万円増加し227億55百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が2億98百万円増加、支払手形及び買掛金が68百万円増加したこと等から、57億4百万円（前連結会計年度末と比較して5億25百万円増加）となりました。固定負債の残高は、長期借入金が前連結会計年度末に比べ8億80百万円増加したこと等から、80億28百万円（前連結会計年度末と比較して8億69百万円増加）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ13億95百万円増加し137億33百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べその他有価証券評価差額金が1億36百万円減少したものの、利益剰余金が1億87百万円増加したこと等から、90億22百万円（前連結会計年度末と

比較して45百万円増加)となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3億65百万円増加し、28億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は3億1百万円(前年同期は50百万円の減少)となりました。これは税金等調整前四半期純利益3億80百万円や減価償却費1億98百万円等の資金の増加要因があったものの、売上債権の増加額6億94百万円や、たな卸資産の増加額1億75百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は3億48百万円(前年同期は57百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出3億41百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の増加は11億3百万円(前年同期は7億92百万円の増加)となりました。これは長期借入金の返済による支出5億72百万円や、親会社による配当金の支払額46百万円等の資金の減少要因があったものの、長期借入れによる収入17億45百万円の資金の増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、長期化する円高、欧州経済の減速、中国経済の成長鈍化などから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは、体質強化・収益拡大・飛躍成長戦略の確実な遂行とお客様満足度向上により、更なる飛躍成長を推進してまいります。販売部門では、顧客ニーズに応え商品の拡充を行った「グリーンウォール」、「ソーラーウォール」及び「アルカス」の販売に注力するとともに、顧客別営業戦略による商談量の確保を狙い、地域特性に応じたPR活動を展開してまいります。また、内装用ボードにつきましては、拡販のため、新たな市場開拓、用途開拓を行うべく、対象市場と商品設計を明確にし、商品開発へと繋げてまいります。

生産部門では、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)により品質の向上、納期短縮に努め、設備保全システムの運用による設備生産性の向上によりコスト削減を図ることで、技術力を背景とした品質、納期、コストの差別化を推進してまいります。

開発部門では、顧客が求める性能・品質・コストを追求し、魅力ある商品群を早期に具現化してまいります。

管理部門では、トータルコスト削減に取り組むとともに、有利子負債の圧縮を更に進め、財務体質を改善し、経営基盤の強化を図ってまいります。

マインケミカル事業では、商談管理システムに基づいた顧客作物別営業を展開し、更なる拡販へと繋げてまいります。

海外事業では、「野澤貿易(上海)有限公司」において、首都「北京」での営業強化を図るとともに、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」の生産工場においては、NNPSの改善活動を実施し、生産体制の確立と生産性の向上に努めてまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高172億円、営業利益8億60百万円、経常利益8億50百万円、当期純利益4億円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,404,968	2,854,964
受取手形及び売掛金	3,347,595	4,165,373
商品及び製品	337,603	430,609
原材料及び貯蔵品	104,856	121,757
未成工事支出金	231,547	297,460
その他	746,000	721,854
貸倒引当金	△4,785	△4,615
流動資産合計	7,167,786	8,587,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,422,707	2,365,425
機械装置及び運搬具（純額）	715,240	1,763,147
土地	7,284,080	7,284,080
建設仮勘定	887,386	68,306
その他（純額）	236,975	230,572
有形固定資産合計	11,546,390	11,711,533
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,484,198	1,279,914
その他	1,133,606	1,202,200
貸倒引当金	△33,242	△40,197
投資その他の資産合計	2,584,562	2,441,917
固定資産合計	14,146,837	14,168,392
繰延資産	173	—
資産合計	21,314,797	22,755,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,406,647	2,474,705
短期借入金	1,602,000	1,900,000
未払法人税等	209,323	200,291
賞与引当金	198,600	213,700
その他	762,753	916,129
流動負債合計	5,179,324	5,704,825
固定負債		
長期借入金	3,189,602	4,070,000
再評価に係る繰延税金負債	1,995,317	1,995,317
退職給付引当金	1,406,935	1,432,714
資産除去債務	13,169	13,229
その他	553,822	517,279
固定負債合計	7,158,847	8,028,541
負債合計	12,338,171	13,733,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	1,131,314	1,318,650
自己株式	△46,717	△46,891
株主資本合計	5,004,168	5,191,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,387	△65,812
土地再評価差額金	3,422,930	3,422,930
為替換算調整勘定	△8,249	2,623
その他の包括利益累計額合計	3,485,068	3,359,741
少数株主持分	487,388	471,358
純資産合計	8,976,625	9,022,431
負債純資産合計	21,314,797	22,755,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,657,558	8,234,231
売上原価	5,517,880	5,883,919
売上総利益	2,139,677	2,350,311
販売費及び一般管理費	1,946,068	1,979,364
営業利益	193,608	370,946
営業外収益		
受取利息	328	1,494
受取配当金	20,210	23,640
受取保険金	5,210	91,283
貸倒引当金戻入額	14,965	—
その他	15,923	14,772
営業外収益合計	56,639	131,191
営業外費用		
支払利息	37,752	37,138
その他	75,125	63,026
営業外費用合計	112,878	100,164
経常利益	137,369	401,973
特別損失		
固定資産除却損	4,494	17,386
投資有価証券評価損	54,632	4,307
特別損失合計	59,127	21,694
税金等調整前四半期純利益	78,242	380,278
法人税、住民税及び事業税	70,935	189,506
法人税等調整額	△7,791	△17,312
法人税等合計	63,143	172,194
少数株主損益調整前四半期純利益	15,098	208,084
少数株主損失(△)	—	△25,928
四半期純利益	15,098	234,012

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,098	208,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,879	△136,199
為替換算調整勘定	△143	20,770
その他の包括利益合計	△50,023	△115,429
四半期包括利益	△34,924	92,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,924	108,684
少数株主に係る四半期包括利益	—	△16,030

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	78,242	380,278
減価償却費	234,000	198,252
社債発行費償却	173	173
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25,192	6,785
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26,600	25,779
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,080	15,100
受取利息及び受取配当金	△20,539	△25,134
支払利息	37,752	37,138
為替差損益 (△は益)	7,731	12,942
固定資産除却損	4,494	11,576
投資有価証券評価損益 (△は益)	54,632	4,307
売上債権の増減額 (△は増加)	△337,093	△694,286
たな卸資産の増減額 (△は増加)	51,049	△175,946
仕入債務の増減額 (△は減少)	△53,211	60,647
その他	△27,422	17,254
小計	36,297	△125,131
利息及び配当金の受取額	20,539	25,134
利息の支払額	△38,880	△37,141
保険金の受取額	—	60,293
法人税等の支払額	△68,596	△224,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,640	△301,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△82,152	△341,788
投資有価証券の取得による支出	△6,173	△6,176
その他	31,193	△1,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,132	△348,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,580,000	1,600,000
短期借入金の返済による支出	△2,480,000	△1,600,000
長期借入れによる収入	—	1,745,494
長期借入金の返済による支出	△734,000	△572,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
少数株主からの払込みによる収入	490,000	—
親会社による配当金の支払額	△46,463	△46,631
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,111	△13,296
その他	△19	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	792,405	1,103,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,874	△3,335
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	676,758	449,996
現金及び現金同等物の期首残高	1,813,046	2,404,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,489,804	2,854,964

（4）継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期 別 区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増 減
押出成形セメント製品	3,438,809 千円	3,686,671 千円	247,861 千円
スレート関連	340,239	319,916	△20,323
その他	37,822	46,463	8,641
合計	3,816,871	4,053,051	236,179

(注) 1 金額は製造価格によります。
2 上記の金額には消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、製商品については受注生産によらず、主として見込み生産を行っております。また、その他の事業の受注はありません。

期 別 区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	606,400	566,246	886,586	809,958	280,186	243,712
スレート工事	59,171	48,840	36,496	18,460	△22,675	△30,380
耐火被覆等工事	650,241	470,645	698,104	467,918	47,862	△2,726
その他工事	605,339	759,066	284,488	262,400	△320,851	△496,665
合計	1,921,153	1,844,797	1,905,675	1,558,737	△15,477	△286,060

(注) 上記の金額には消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期 別 区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増 減
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	5,510,068	5,842,150	332,082
（内、アスロック）	(4,624,345)	(4,948,706)	(324,361)
（内、住宅用軽量外壁材）	(885,722)	(893,443)	(7,721)
スレート関連	530,360	546,229	15,868
耐火被覆等	592,194	532,620	△59,574
その他	1,005,527	1,293,572	288,044
計	7,638,152	8,214,573	576,421

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間19,658千円であり、前年同期比251千円の増加となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減
	金 額	割合	金 額	割合	金 額
積水ハウス㈱	1,835,642 千円	24.0 %	1,928,060 千円	23.4 %	92,417 千円
伊藤忠建材㈱	764,493	10.0	866,531	10.5	102,037

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は上記のとおりです。
2 上記の金額には消費税等は含まれていません。